

国交省4事務所 飯島で安全大会

管内の重大事故受け

いずれも国土交通省の天竜川上流河川事務所（駒ヶ根市）、三峰川総合開発工事事務所（伊那市）、飯田国道事務所（飯田市）、天竜川ダム統括管理事務所（中川村）は18日、合同安全大会を飯島町内で開いた。今年、管内の直轄工事で重大な事故が続いた



工事の安全対策強化などを確認した合同安全大会

ため。事故防止の対策を報告し、工事関係者ら約200人が安全施工へ意識を高めた。

飯田労働基準監督署は、発生した労災を基に注意点や対策を説明。建設業者らでつくる県南部防災対策協議会の窪田雅則さんは、安全は「トップの姿勢」にかかっているとし、会社や現場の責任者が絶対に対に事故を起こさない姿勢でパトロールを重ねることが大切、とした。大会は、無事故・無災害を目指す「安全宣言」を採択して締めくくった。

上下伊那地方では3月、天竜川上流河川事務所が発注した砂防えん堤管理用トンネル工事現場（伊那市長谷）で男性がセメントをかくはんする機械の中で見つかり、死亡が確認された。2月には、飯田国道事務所が発注した橋の工事現場（飯田市上久堅）で、足場を撤去していた男性が約9メートル落ちて頭などの骨を折る重傷を負った。